

**令和 2 年度  
岩手県循環型社会形成推進計画策定に  
係る物質フロー整備業務報告書**

**令和 2 年 6 月**

**岩 手 県**



## 目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的	1
第2節 調査に関する基本的事項	1
1. 物質フローの構成	1
2. 各項目算出のフローチャート	3
3. 各項目の算出方法	3
第2章 調査の結果	11
第1節 本県の物質フローの概要	11
1. 入口	13
2. 循環	13
3. 出口	13
第2節 本県の物質フローの特徴	14
1. 入口	15
2. 循環	15
3. 出口	15
第3節 分析結果のとりまとめ及び考察	17
1. 一般廃棄物（ごみ）	17
2. 産業廃棄物	19
3. 留意事項等	21
第3章 物質フローの推計に用いた統計値等	22
第1節 資源投入量	22
第2節 製品投入量	27
第3節 化石燃料投入量	37
第4章 参考資料	38
第1節 資源投入量・製品投入量等の集計表	38
第2節 物質フローの断面数量	39
第3節 物質フローの作成に使用した資料の出典等	40



# 第 1 章 調査の概要

## 第 1 節 調査の目的

本調査は、岩手県が令和 2 年度に策定する第三次岩手県循環型社会形成推進計画の策定に当たり、循環型地域社会の形成に係る現状と課題を検証するための資源循環の概要(物質フロー)等の基礎資料を得ることを目的に実施した。

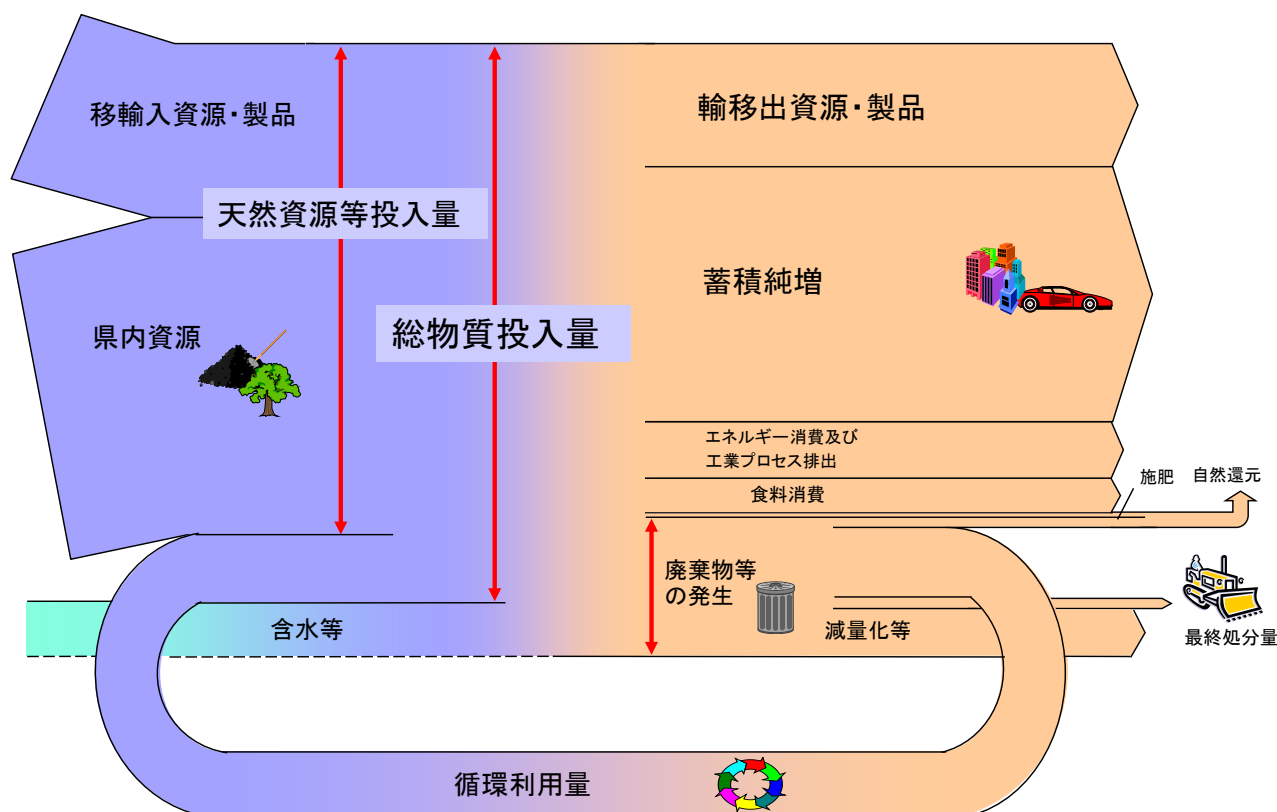
## 第 2 節 調査に関する基本的事項

既存の統計資料等から、平成 30 年度の本県における物質の投入、蓄積、消費、移出、廃棄、エネルギー消費等の現状を整理し、資源循環の状況を包括的に観測できる物質フローの作成を行った。

### 1. 物質フローの構成

物質フローは、図 1-1 に示す項目により、取りまとめをした。各項目の用語の解説は、図表 1-2 のとおりである。

図表 1-1 物質フローの構成



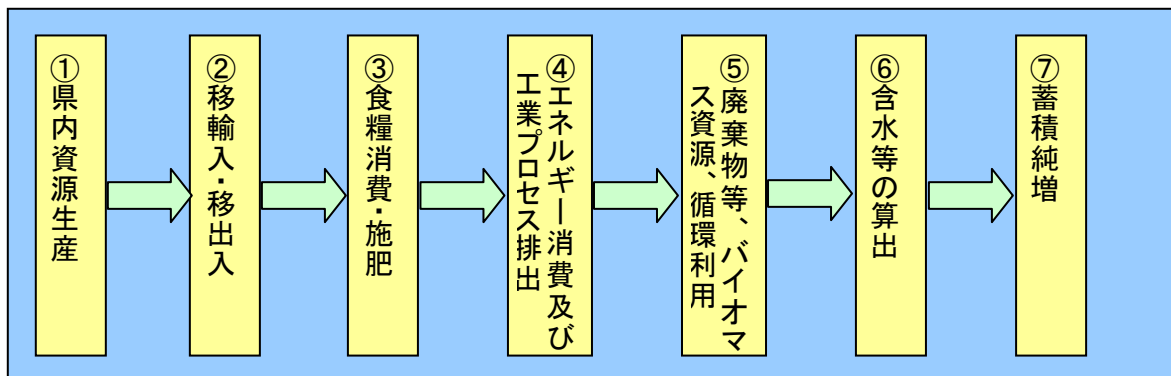
図表 1-2 物質フローを構成する各項目の用語の定義

項目		解説
入口側	総物質投入量	・天然資源等投入量と循環的利用量の和
	天然資源等投入量	・県内資源と移輸入の量の和
	県内資源	・県内で採取される資源の量
	移輸入	・県内に移輸入される資源及び製品の量
	循環的利用量	・再生利用のうち自然還元以外のものの量
	含水等	・天然資源等投入には含まれないが、廃棄物等に含まれる水分量 ・経済活動に伴う土砂等の随伴投入量（鉱業、建設業、上水道業の汚泥及び鉱業の鉱さい）
出口側	移輸出	・県外に移輸出される資源及び製品の量
	蓄積純増	・土木構造物、建築物、耐久財など、すぐには棄てられず経済活動の中に蓄積するものについて、ある年に新たに蓄積したものから、同年に廃棄・解体されて廃棄物等となったものを除いたものの量
	エネルギー消費及び工業プロセス排出	・化石資源やバイオマス資源（廃棄物等を除く）がエネルギーとして利用されて排ガスや排水になった量 ・鉄鉱石中の酸化鉄から還元される酸素、石灰石から分離する二酸化炭素など、工業プロセスでの物質変化に伴い排出されるものの量
	食料消費	・人の食料や家畜の餌のうち、直接あるいは取り込まれたのちに廃棄物等となるものを除いたものの量
	施肥	・農地に散布した肥料の量
	廃棄物等の発生	・廃棄物等の発生量
	自然還元	・農業から排出される稲わら、麦わら、もみがら等で農地等に還元された量 ・家畜ふん尿のうち、農地に還元されている量（処理によりたい肥や肥料として利用されているものは循環的利用に計上）
	循環利用	・再生利用のうち、自然還元以外のものの量
	減量化	・廃棄物等を処理する目的で中間処理により減量化した量。したがって、廃棄物等を廃棄物発電付き施設で燃焼して減量化された分は、エネルギー消費ではなくこの項目に含まれる。
	最終処分	・直接又は中間処理後に最終処分された廃棄物の量

## 2. 各項目算出のフローチャート

各項目算出のフローチャートは、図表 1-3 のとおりである。各種生産統計と産業連関表（平成 21 年岩手県産業連関表）によって、県内生産資源と移輸入・移輸出を算出した後、出口側の各項目と廃棄物等を算出して、最後に蓄積純増を算出した。

図表 1-3 各項目算出のフローチャート



## 3. 各項目の算出方法

物質フローの各項目にてその算出方法を示す。また（１）から（３）までが入口側の項目、（４）から（７）までが出口側の項目である。

### （１）県内資源生産

下記①～③の優先順位で使用データを決定した。

- ① 農林水産省、経済産業省、国土交通省などの各省庁が実施した指定統計・届出統計に記載されている県別生産量の当該年度数値を使用した。
- ② 指定統計・届出統計以外の統計資料で県別生産量が得られる場合は、その当該年度の数値を使用した。
- ③ ①～②の数値のうち、平成 30 年度の数値が公表されていない場合は直近年度の数値を用いた。

算出した品目と使用した統計の一覧を図表 1-4 に示す。

図表 1-4 県内資源生産の品目一覧

大項目	小項目	統計名	統計の年度	推計方法
県内資源生産				
農林水産物	普通作物(米麦豆等)	農林水産省「作物統計」	平成30年(暦年)	①
	飼料作物(牧草、ソルゴー等)	農林水産省「作物統計」	平成30年(暦年)	①
	工芸農作物(茶、砂糖きび等)	農林水産省「作物統計」	平成30年(暦年)	①
	野菜	農林水産省「野菜生産出荷統計」	平成30年(暦年)	①
	果樹	農林水産省「果樹生産出荷統計」	平成30年(暦年)	①
	花き	農林水産省「花き生産出荷統計」	平成30年(暦年)	①
	水産品	農林水産省「漁業・養殖生産統計年報」	平成30年(暦年)	①
	木材	農林水産省「木材需給報告書」	平成30年(暦年)	①
鉱物	岩石	資源エネルギー庁「採石業者の業務の状況に関する報告書」	平成30年(暦年)	①
	砂利	経済産業省「砂利採取業務状況報告書集計表」	平成28年度	①
	石灰石	石灰石鉱業会「石灰石」	平成30年度	②

## (2) 移輸入・移輸出

下記①～⑤の優先順位で使用データを決定した。

- ① 生産統計データに付随して、県外出荷量・他県からの入荷量等の実数値が得られる場合は、その当該年度数値を使用した。
- ② 県内生産量が得られたものは、その当該年度数値と産業連関表を用いて、県内生産額と移輸出量と移輸入量の按分により、移輸出量と移輸入量を用いた。
- ③ 県別生産量が得られない場合、全国生産統計の当該年度数値から県別の生産額・出荷額等で按分して生産量を算出した。
- ④ 県内生産量が統計からは確認できないが、輸入の多い資源、製品については国土交通省の「港湾統計」(平成30年)の数値を使用した。
- ⑤ ①～③の数値のうち、平成30年度の数値が公表されていない場合は、直近年度の数値を用いた。

算出した品目と使用した統計の一覧を図表 1-5 と図表 1-6 に示す。



図表 1-5 移輸出入（資源）の品目一覧

大項目	小項目	統計名	統計の年度	推計方法
移輸出入（資源）				
化石燃料	原油	国土交通省「港湾統計(年報)」	平成30年(暦年)	④
	重油			
	石炭			
	LNG			
	LPG			
	石油製品			
	その他石油製品			
	コークス			
	石炭製品			
農林水産物	普通作物(米麦豆等)	農林水産省「作物統計」	平成30年(暦年)	②
	飼料作物(牧草、ソルゴー等)	農林水産省「作物統計」	平成30年(暦年)	②
	工芸農作物(茶、砂糖きび等)	農林水産省「作物統計」	平成30年(暦年)	②
	野菜	農林水産省「野菜生産出荷統計」	平成30年(暦年)	②
	果樹	農林水産省「果樹生産出荷統計」	平成30年(暦年)	②
	花き	農林水産省「花き生産出荷統計」	平成30年(暦年)	②
	水産品	農林水産省「漁業・養殖生産統計年報」	平成30年(暦年)	②
	木材	農林水産省「木材需給報告書」	平成30年(暦年)	①
鉱物	鉄鉱石	国土交通省「港湾統計(年報)」	平成30年(暦年)	④
	金属鉱			
	りん鉱石			
	原塩			
	岩石	資源エネルギー庁「採石業者の業務の状況に関する報告書」	平成30年(暦年)	②
	砂利	経済産業省「砂利採取業務状況報告書集計表」	平成28年度	②
	石灰石	石灰石鉱業会「石灰石」	平成30年度	②

図表 1-6 移輸出入（製品）の品目一覧

大項目	小項目	統計名	統計の年度	推計方法
移輸出入（製品）				
食料品	食肉	農林水産省「畜産物流通統計」	平成30年(暦年)	②
	食鳥	農林水産省「畜産物流通統計」	平成30年(暦年)	②
	鶏卵	農林水産省「畜産物流通統計」	平成30年(暦年)	②
	飲用牛乳	農林水産省「牛乳乳製品統計」	平成30年(暦年)	②
	乳飲料	農林水産省「牛乳乳製品統計」	平成30年(暦年)	②
	水産食料品	農林水産省「水産加工統計調査」	平成30年(暦年)	②
	食肉加工品	農林水産省「食品産業動態調査」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	米麦加工品	農林水産省「食品産業動態調査」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	油かす、植物油	農林水産省「食品産業動態調査」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	調味食品	農林水産省「食品産業動態調査」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	缶びん詰め	農林水産省「食品産業動態調査」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	菓子	農林水産省「食品産業動態調査」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	砂糖類、でん粉	農林水産省「食品産業動態調査」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
飼料・有機質肥料	配合・混合飼料	飼料月報	平成30年度	②
	有機質肥料	ポケット肥料要覧	平成30年(暦年)	③
化学工業製品	繊維製品	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	衣服	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	紙	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	②
	出版・印刷	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	アスファルト舗装材	日本アスファルト合材協会「アスファルト合材製造 数量推移」	平成30年度	②
	プラスチック製品	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	ゴム製品	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	ガラス製品	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	生コンクリート	生コンクリート流通統計調査	平成30年(暦年)	①
	セメント製品	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
非金属および製品	普通鋼鋼材	日本鉄鋼連盟「鉄鋼統計要覧」	平成30年度	②
	非鉄金属製品	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③
	金属製品	経済産業省「生産動態統計年報」、 経済産業省「工業統計」	平成30年(暦年)	③

### (3) 食糧消費・施肥

食糧消費及び施肥は、国の物質フローと同様の推計方法とした。

図表 1-7 食糧消費の算出方法

「県内の食糧消費」 = 「①食料と飼料の県内供給量」 － 「②人・家畜の排泄量」 － 「③食品廃棄物量」	
①食料・飼料の県内供給量 = 「食料・飼料」県内生産量 + 「食料・資料」移輸入量 － 「食料・飼料」移輸出量	
②人・家畜の排泄量 = 「家畜ふん尿」排出量 × (1－含水率[85%]) + 「下水」排出量 × (1－含水率[98%]) + 「し尿」排出量 × (1－含水率[98%])	
③食品廃棄物量 = 「一般廃棄物(厨芥)」減量化量、最終処分量、再生利用量 + 「産業廃棄物(動植物性残渣)」減量化量、最終処分量、循環利用量	

図表 1-8 施肥の算出方法

「施肥」 = 「肥料」県内生産量 - 「肥料」輸移出量 + 「肥料」輸移入量
--

### (4) エネルギー消費及び工業プロセス排出

エネルギー消費及び工業プロセス排出は、原則として国の物質フローと同様の推計方法とした。統計は資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計（平成 24 年）」を使用した。

図表 1-9 エネルギー消費量の算出方法

「エネルギー消費量」 = 「石炭」「石油」「天然ガス」県内消費量 － 「石炭」消費量 × 0.12(石炭中の灰分率) ※ ※ 灰分率は炭種によらず、一律に 12%と想定。
---

図表 1-10 工業プロセス排出

「工業プロセス排出量」 = 「①石灰石からの CO <sub>2</sub> 分離」
①石灰石からの CO <sub>2</sub> 分離 = 「石灰石」製品出荷量 × 0.44(CO <sub>2</sub> 排出係数) ※1
※1 CO <sub>2</sub> 排出係数は、環境省「実行計画策定マニュアル及び温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン(平成 29 年 3 月)」の排出係数一覧の数値を使用。

## (5) 廃棄物等

廃棄物等については、次の方法で推計した。

### ① 一般廃棄物（ごみ、し尿）

一般廃棄物の発生量及び処理量は、本県で実施した一般廃棄物実態調査に基づく平成 30 年度の実績値を用いた。

### ② 産業廃棄物（家畜排せつ物を除く）

産業廃棄物の発生量及び処理量は、本県で実施した産業廃棄物実態調査に基づく平成 30 年度の実績値を用いた。

### ③ 家畜排せつ物

農林水産省畜産統計飼養頭羽数を基に推計した。

### ④ 稲わら、もみ殻、麦わら等

#### ◆発生量

平成 30 年度廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用量実態調査報告書（廃棄物等循環利用量実態調査編、環境省）に記載された平成 28 年度の全国データを基に岩手県と全国の栽培面積割合から推計した。

図表 1-11 栽培面積 (ha)

	米	麦
国全体	1,611,000	282,900
岩手県	56,600 (3.5%)	4,180 (1.5%)

図表 1-12 発生量 (千トン)

	稲わら	麦わら	もみがら	計
国全体	7,998	1,090	1,747	10,835
岩手県 (推計)	281	16	61	358

#### ◆処理量

処理量は、前回調査の処理比率と同じとし、資源化量 97.3%、自然還元量 2.7%とした。

### ⑤ 災害廃棄物

一般廃棄物の発生量及び処理量は、本県で実施した一般廃棄物実態調査に基づく平成 30 年度の実績値を用いた。

廃棄物等の発生量及び処理量は次のとおりである。

図表 1-13 廃棄物等の発生量及び処理量（平成 30 年度）

（単位：千トン）

	発生量	循環利用量	減量化量	自然還元量	最終処分量
一般廃棄物(ごみ)	429	81	307	0	41
一般廃棄物(し尿)	526	1	524	0	0
産業廃棄物	2,825	1,775	972	0	79
家畜排せつ物	3,696	3,067	333	296	0
稲わら、もみ殻、麦わら等	358	349	0	10	0
災害廃棄物	4	3	1	0	0
計(災害廃棄物を除く)	7,830	5,270	2,135	305	121
計	7,834	5,273	2,136	305	121

図表 1-14 廃棄物等の発生量及び処理量（平成 25 年度）

（単位：千トン）

	発生量	循環利用量	減量化量	自然還元量	最終処分量
一般廃棄物(ごみ)	453	84	318	0	50
一般廃棄物(し尿)	570	8	562	0	0
産業廃棄物	3,363	2,330	935	0	98
家畜排せつ物	4,209	3,493	356	360	0
稲わら、もみ殻、麦わら等	380	370	0	10	0
災害廃棄物	3,783	3,387	170	0	225
計(災害廃棄物を除く)	8,976	6,285	2,172	370	149
計	12,758	9,672	2,342	370	375

## (6) 含水等

算出方法は原則として国の物質フローの推計方法に従った。算出方法は以下のとおりである。

図表 1-15 含水等の算出方法

「含水等」 = 「①廃棄物等の含水」 + 「②鉱さい、汚泥の随伴投入」	
①廃棄物等の含水 = 「廃酸」「廃アルカリ」「汚泥」「家畜ふん尿」「し尿」 × 含水率 ※	
※ 含水率は次のように想定した。 廃酸:99%、廃アルカリ:99%、汚泥:98%、家畜ふん尿:85%、し尿:98%、下水:98%	
②鉱さい、汚泥の随伴投入 = 「汚泥」発生量(鉱業・建設業・上水道) × (1－含水率[98%]) + 「鉱さい」発生量(鉱業)	

## (7) 蓄積純増

蓄積純増の算出方法は国の物質フローと同様とした。

図表 1-16 蓄積純増の算出方法

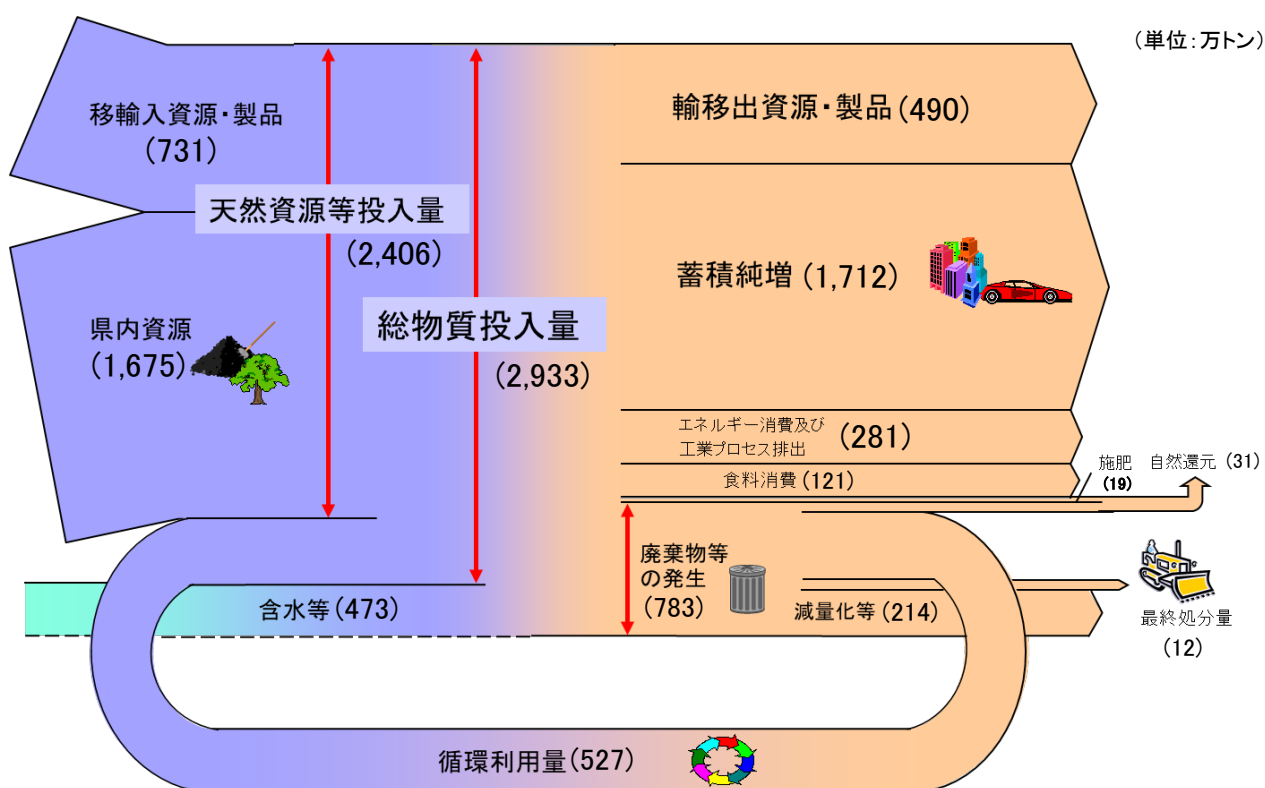
「蓄積純増量」 = 「総物質投入量」+「含水等」	
－ 「移輸出」	
－ 「食糧消費・施肥」	
－ 「エネルギー消費及び工業プロセス排出」	
－ 「廃棄物等の発生」	

## 第2章 調査の結果

### 第1節 本県の物質フローの概要

平成30年度の本県の物質フローをみると、県内の経済社会に入ってくる県内外の資源・製品等の量（総物質投入量）は2,933万トンであり、このうち1,712万トンが建物や社会インフラなどの形で蓄積されている。また、490万トンが製品等の形で移輸出され、281万トンがエネルギーとして消費又は工業プロセスとして排出され、783万トンが廃棄物等として発生している。

図表2-1 岩手県の物質フロー（平成30年度）



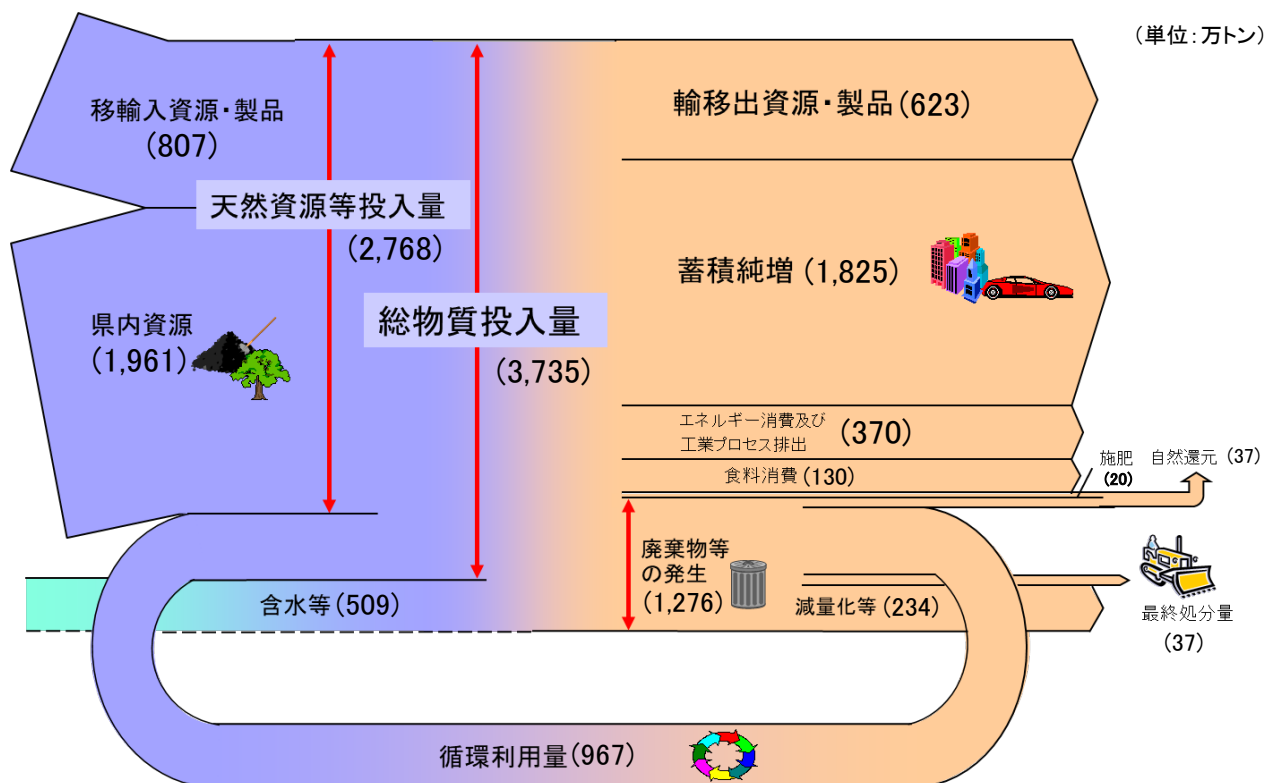
※イメージ図

(第四次循環型社会形成推進基本計画の物質フロー模式図を基に作成)

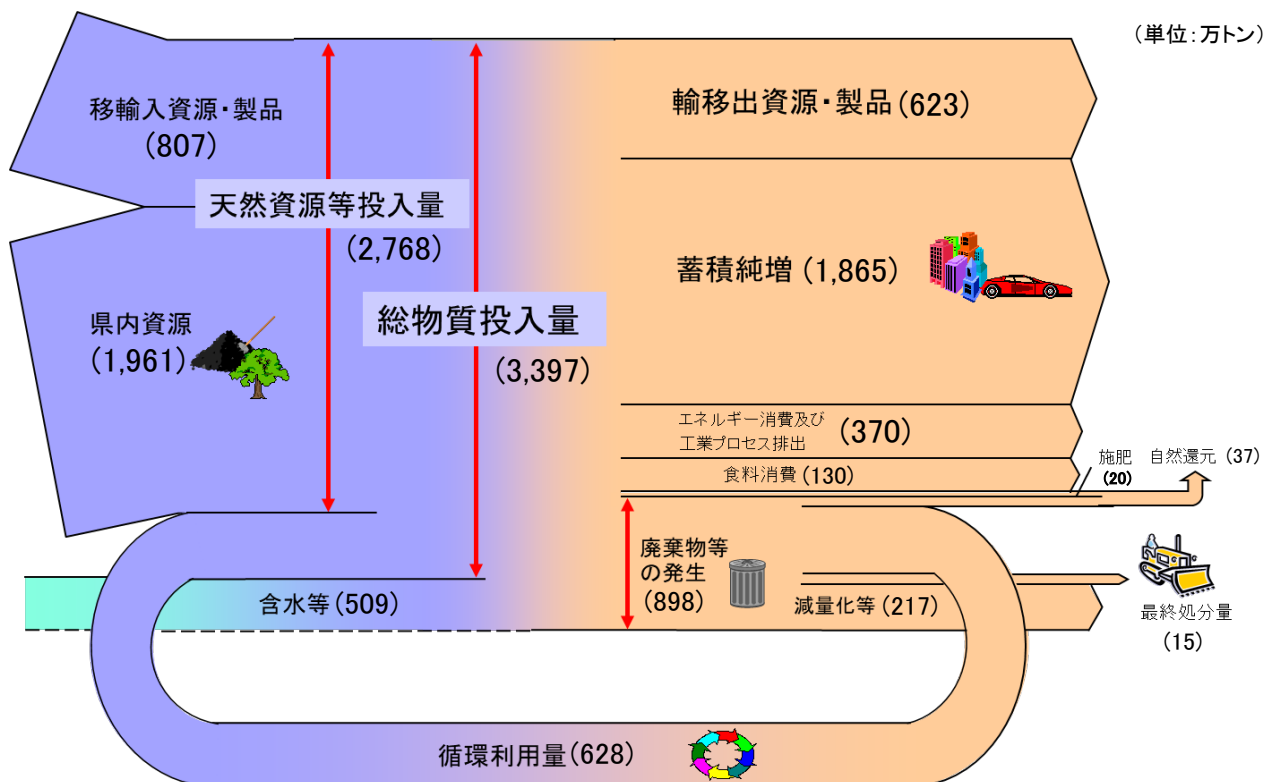
#### 【平成25年度と平成30年度の比較等】

- ◆総物質投入量が3,735万トンから2,933万トンに減少している。これは県内資源の採取量、廃棄物等の循環利用量が減少したことが影響している。
- ◆廃棄物等の発生量が大きく減少している。これは、前回調査時、災害廃棄物が378万トンであったが4千トンに減少していることが影響している。

図表 2-2 岩手県の物質フロー（平成 25 年度）



図表 2-3 岩手県の物質フロー（平成 25 年度、災害廃棄物を除く）



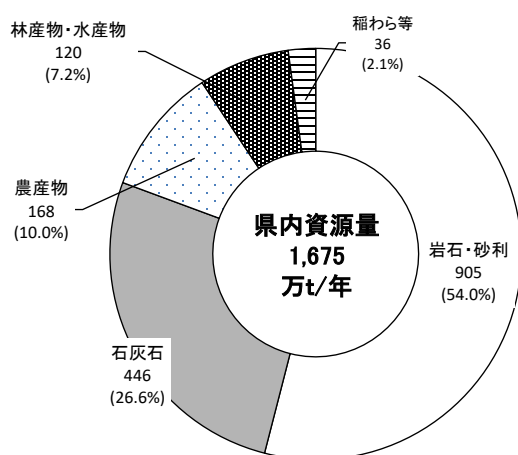


## 1. 「入口」

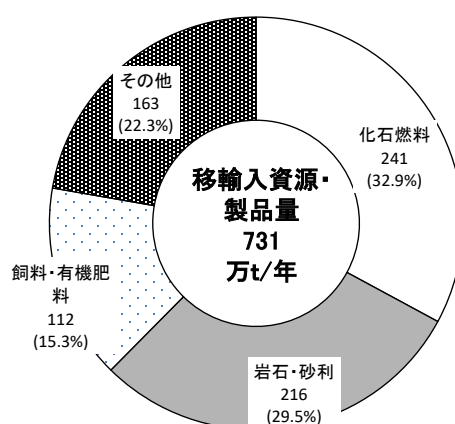
物質フローの「入口」である物質の投入量をみると、2,406 万トンの天然資源及び製品（天然資源等）が投入され、その内訳は、県内で採取された資源 1,675 万トン（69.6%）、移輸入資源・製品 731 万トン（30.4%）となっている。県内資源をみると、岩石・砂利が 905 万トン（54.0%）、石灰石が 446 万トン（26.6%）、農産物が 168 万トン（10.0%）等となっており、移輸入資源・製品をみると、化石燃料が 241 万トン（32.9%）、岩石・砂利が 216 万トン（29.5%）、飼料・有機肥料が 112 万トン（15.3%）等となっている。

また、これら天然資源等のほかに、循環的利用される廃棄物等（循環的利用量）527 万トンが投入されている。

図表 2-4 県内資源量の内訳(平成 30 年度)



図表 2-5 移輸入資源・製品量の内訳(平成 30 年度)



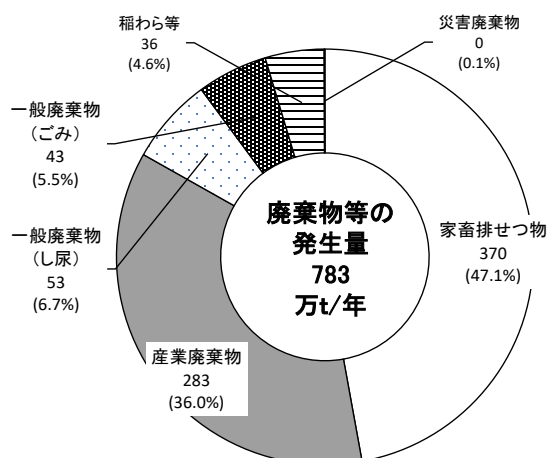
## 2. 「循環」

廃棄物等として発生した 783 万トンのうち 527 万トンが資源として循環利用されており、これは廃棄物等発生量の 67.3%，総物質投入量の 18.0%に相当する。

## 3. 「出口」

総物質投入量 2,933 万トンのうち蓄積純増量が 1,712 万トン、移輸出量が 490 万トン、エネルギー消費及び工業プロセス排出量が 281 万トン、廃棄物等の発生量が 783 万トンなどとなっている。廃棄物等の発生量の内訳は、家畜排せつ物が 370 万トン（47.1%）、産業廃棄物が 283 万トン（36.0%）、一般廃棄物（し尿）が 53 万トン（6.7%）等となっている。廃棄物等の発生量のうち 214 万トンが中間処理等により減量化され、12 万トンが最終処分されている。

図表 2-6 廃棄物等発生量(平成 30 年度)



## 第2節 本県の物質フローの特徴

国の第4次循環型社会形成推進基本計画では、物質フローの断面（入口、循環、出口）に関する4つの指標（資源生産性、入口側の循環利用率、出口側の循環利用率、最終処分量）を設定している。

- ・資源生産性（＝GDP／天然資源等投入量）  
天然資源等投入量とは国産・輸入天然資源及び輸入製品の合計量を指し、資源生産性は一定量当たりの天然資源等投入量から生み出される実質国内総生産（実質 GDP）を算出することによって、産業や人々の生活がいかに物を有効に使っているか（より少ない資源でどれだけ大きな豊かさを生み出しているか）を総合的に表す指標。
- ・入口側の循環利用率（＝循環利用量／（循環利用量＋天然資源等投入量））  
経済社会に投入されるものの全体量のうち循環利用量（再使用・再生利用量）の占める割合を表す指標。
- ・出口側の循環利用率（＝循環利用量／廃棄物等発生量）  
廃棄物等発生量のうち循環利用量（再使用・再生利用量）の占める割合を表す指標。
- ・最終処分量  
廃棄物の埋立量。廃棄物の最終処分場の確保という課題に直結した指標。

物質フローの指標について、本県の値と全国値を比較すると、次のような特徴がある。

図表 2-7 物質フローの指標

		岩手県				全国値
		H25年度	H30年度	H25年度	H30年度	平成28年度
				災害廃棄物を除く		
資源生産性(①÷②)〈万円/トン〉		17.4	18.5	---	---	39.4
	①県内(国内)総生産〈億円〉※1	48,125	44,573	---	---	5,196,305
	②天然資源等投入量〈万トン〉	2,768	2,406	---	---	131,900
入口側の循環利用率(④÷⑤×100)〈%〉		25.9	18.0	18.5	18.0	15.4
出口側の循環利用率(④÷③×100)〈%〉		75.8	67.3	69.9	67.3	43.6
廃棄物等発生率(③÷⑤×100)〈%〉		34.2	26.7	26.4	26.7	35.3
	③廃棄物等発生量(万t)	1,276	783	898	783	55,100
	④循環利用量(万t)	967	527	628	527	24,000
	⑤総物質投入量(②+④)〈万トン〉	3,735	2,933	3,397	2,933	155,900
⑥最終処分量〈万トン〉		38	12	15	12	1,400
	最終処分率(⑥÷③×100)〈%〉	3.0	1.5	1.7	1.5	2.5

※1：平成30年度岩手県の県内総生産は平成29年度の値を使用

### 1. 「入口」の指標：資源生産性（県内総生産／天然資源等投入量）

本県の資源生産性は 18 万 5 千円/トンで、平成 25 年度より向上している。

全国値 39 万 4 千円/トンと比較すると本県は 2 分の 1 以下となっている。これは、岩石・砂利や石灰石などの投入される資源の量が多く、生産された製品やサービスの付加価値が低いことが影響しており、本県の産業構造の特徴を反映した結果になっていると思われる。

### 2. 「循環」の指標：循環利用率（＝循環利用量／（循環的利用量＋天然資源等投入量））

：廃棄物等循環的利用率（＝循環的利用量／廃棄物等の発生量）

本県の循環的利用率は 18.0%で、平成 25 年度より 7.9 ポイント低下している。これは、平成 25 年度は東日本大震災により発生した大量の災害廃棄物がリサイクルされていたことが影響している。

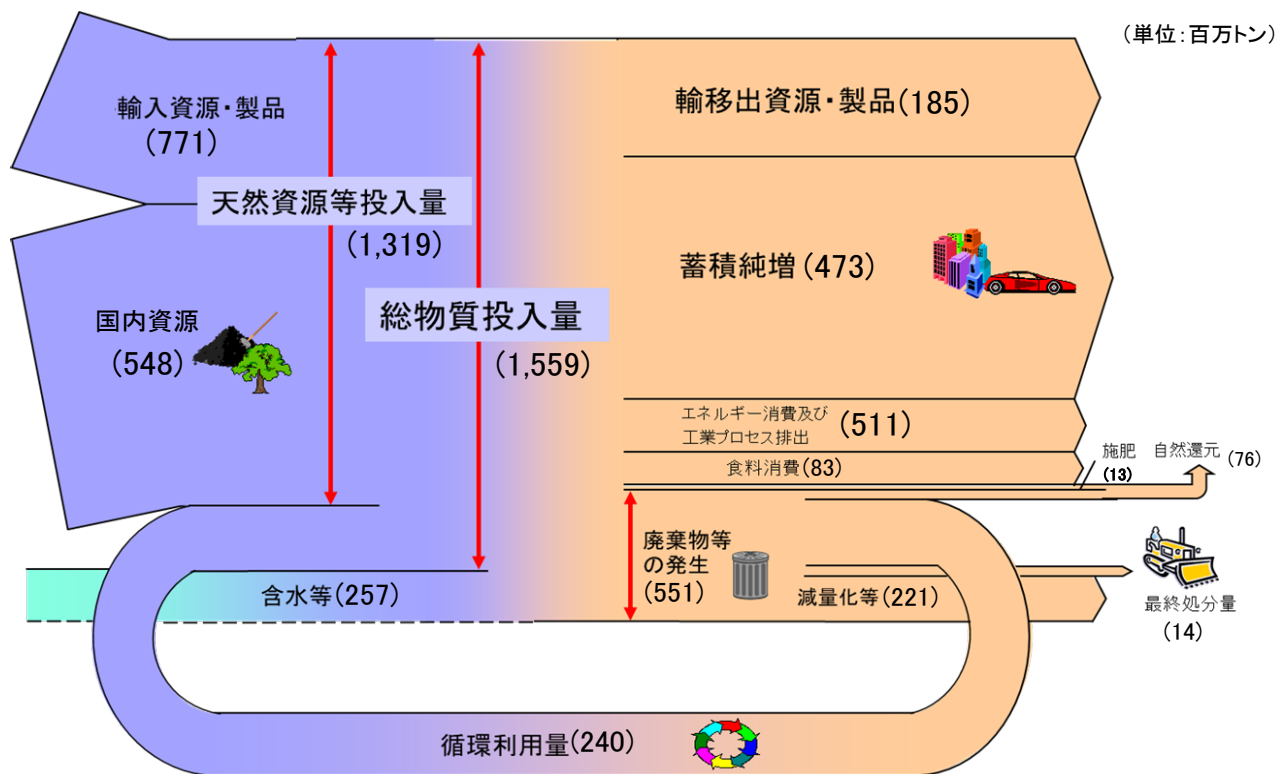
災害廃棄物を除いた循環利用率をみると、平成 30 年度は 18.0%で平成 25 年度より 0.5 ポイント低下でほぼ横ばいとなっている。

また、全国値 15.4%と比較すると、本県の循環利用率は 2.6 ポイント高くなっている。これは、本県は畜産農業が盛んであり、家畜排せつ物の発生量及び循環利用量が多いことが影響していると思われる。

### 3. 「出口」の指標：最終処分量

本県の最終処分量は 12 万トンで、平成 25 年度より 26 万トン減少しており、災害廃棄物を除いた量では、平成 25 年度より 3 万トン減少している。最終処分率でみると、平成 25 年度より 1.5 ポイント低くなっており、災害廃棄物を除いた量では、平成 25 年度より 0.2 ポイント低くなっている。

図表 2-8 参考：日本の物質フロー（平成 28 年度）



※出典：令和元年版環境白書

### 第3節 分析結果のとりまとめ及び考察

平成 30 年度は東日本大震災の影響も落ち着いてきており、廃棄物等については東日本大震災の影響が強く残っていた平成 25 年度と比較検討するのが難しい。また、震災復興工事の影響で増加していた通常の産業廃棄物（がれき類）も大きく減少しており、大震災以前の状況に戻りつつある。

資源生産性が全国と比べて低いのは、本県の産業構造等の特徴を色濃く反映している。廃棄物問題だけでなく、エネルギー問題や経済問題も関係してくることから、これらは、中・短期的に改善するのは難しいと思われる。

廃棄物等についてみると、一部において循環利用率が全国より低くなっているという課題があり、これについて考察する。

#### 1. 一般廃棄物（ごみ）

一般廃棄物（ごみ）についてみると、1 人 1 日当たりの排出量は 930g/人日となっている。リサイクル率は 18.2%であり、東北地方と比較するとかなり高くなっているが、全国より低くなっている。

図表 3-1 一般廃棄物（ごみ）の排出量とリサイクル率の比較（平成 30 年度）

	1人1日当たりの排出量(g/人日)			リサイクル率(%)	
	合計	生活系ごみ	事業系ごみ	R	R'
青森県	1,002	680	322	14.5	13.0
岩手県	930	635	295	18.2	16.8
宮城県	972	668	304	15.2	14.8
秋田県	989	665	324	15.9	15.5
山形県	915	641	275	14.3	14.3
福島県	1,029	727	302	12.9	12.9
東北地方	978	674	304	14.9	14.4
全国	918	638	280	19.9	18.1

※リサイクル率 R' は、固形燃料、焼却灰・飛灰のセメント原料化、セメント等への直接投入、飛灰の山元還元を除いたリサイクル率

処理処分の詳細を全国と比較すると次のとおりである。

#### （1）容器包装プラスチック

容器包装プラスチックのリサイクル率が低くなっている。プラスチックはごみ焼却やごみ発電の熱源となっている側面もあり、分別収集等に新たなコストを要するが、リサイクル可能なプラスチックが焼却処理されている可能性がある。

しかし、2020 年 7 月から始まるレジ袋有料化等、国による容器包装プラスチック削

減に向けた取り組みが進んでおり、今後はリサイクル率上昇の取り組みに加え、プラスチックごみ全体の排出量削減への取組を推進していく必要があると思われる。

## (2) 直接焼却量の割合が高い

直接焼却量の割合が高くなっている。焼却は衛生処理の観点からは優れているが、リサイクル率は低くなる。国は食品ロスの削減に向けて、生ごみ等の廃棄物系バイオマスのリサイクルを推進しており、今後は肥飼料化やメタン回収施設等の整備を検討する必要があると思われる。

図表 3-2 岩手県と全国の処理処分の詳細（平成 30 年度）

(単位:トン)				
	岩手県		全国	
排出量	424,967	(100%)	42,716,264	(100%)
再生利用量	77,228	(18.2%)	8,529,925	(20.0%)
集団回収量	18,698	(4.4%)	2,044,366	(4.8%)
直接資源化量	15,757	(3.7%)	1,892,415	(4.4%)
処理後再生利用量	42,773	(10.1%)	4,593,144	(10.8%)
紙類	4,554	(1.1%)	430,615	(1.0%)
紙パック	39	(0.0%)	3,225	(0.0%)
紙製容器包装	647	(0.2%)	41,531	(0.1%)
金属類	9,219	(2.2%)	691,669	(1.6%)
ガラス類	6,670	(1.6%)	535,091	(1.3%)
ペットボトル	2,371	(0.6%)	238,243	(0.6%)
白色トレイ	18	(0.0%)	8,551	(0.0%)
容器包装プラスチック	3,733	(0.9%)	580,139	(1.4%)
プラスチック類	5	(0.0%)	48,492	(0.1%)
布類	193	(0.0%)	37,419	(0.1%)
肥料	882	(0.2%)	140,570	(0.3%)
飼料	0	(0.0%)	6,281	(0.0%)
溶融スラグ	8,021	(1.9%)	531,533	(1.2%)
固形燃料	0	(0.0%)	332,533	(0.8%)
燃料	15	(0.0%)	31,991	(0.1%)
焼却灰・飛灰のセメント原料化	5,605	(1.3%)	382,303	(0.9%)
セメント等への直接投入	226	(0.1%)	15,371	(0.0%)
飛灰の山元還元	0	(0.0%)	38,120	(0.1%)
廃食用油(BDF)	13	(0.0%)	1,548	(0.0%)
その他	562	(0.1%)	497,919	(1.2%)
減量化量	306,434	(72.1%)	30,351,174	(71.1%)
直接焼却量	338,407	(79.6%)	32,621,981	(76.4%)
最終処分量	41,305	(9.7%)	3,835,165	(9.0%)
直接最終処分量	2,057	(0.5%)	439,233	(1.0%)
焼却残さ量	33,029	(7.8%)	2,918,027	(6.8%)
処理残さ量	6,219	(1.5%)	477,905	(1.1%)

出典：一般廃棄物実態調査

## 2. 産業廃棄物

産業廃棄物についてみると、全国と比較して、再生利用率が高く減量化率が低くなっている。最終処分率は全国と同じく 3%となっている。

図表 3-3 産業廃棄物の排出量及び処分量の比較（平成 30 年度）

（単位：千トン）

	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量
岩手県	2,688	1,638 (61%)	972 (36%)	79 (3%)
全国(H29)	383,544	200,217 (52%)	173,630 (45%)	9,697 (3%)

※岩手県には動物の糞尿の量は含まれていない。

出典：産業廃棄物実態調査及び産業廃棄物実績報告書等入力集計等業務報告書  
：産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成29年度実績、環境省）

再生利用率と最終処分率を全国と比較すると次のとおりである。

### （１）再生利用率

排出量 10 千トン以上の種類について再生利用率をみると、廃アルカリ、木くずが全国より低くなっている。

廃アルカリは、最終処分率が全国より低くなっており、脱水や焼却により減量化している。木くずはチップ化、堆肥化、燃料化等比較的リサイクルが容易であるため、さらに再生利用率を高める必要があると思われる。

### （２）最終処分率

排出量 10 千トン以上の種類について最終処分率をみると、ガラス陶磁器くず、鉋さいが全国より高くなっている。ガラス陶磁器くずは、石綿が含有されている場合もあるため、石綿含有以外の産業廃棄物についてリサイクルを図る必要がある。鉋さいは、路盤材やセメント原料化等の再生利用を推進する必要がある。

図表 3-4 岩手県と全国の再生利用率等の比較（平成 30 年度）

	排出量(千トン)	再生利用率(%)		最終処分率(%)	
	岩手県	岩手県	全国	岩手県	全国
燃え殻	16	75	60	25	27
汚泥	1,059	14	7	1	1
廃油	13	62	40	0	2
廃酸	7	29	35	0	2
廃アルカリ	10	10	20	0	4
廃プラスチック類	60	70	57	15	15
紙くず	4	75	76	0	2
木くず	129	70	81	2	4
繊維くず	1	0	57	0	13
動植物性残さ	17	88	71	0	2
動物系固形不要物	－	－	75	－	3
ゴムくず	－	－	44	－	38
金属くず	9	100	94	0	2
ガラス陶磁器くず	122	74	72	26	18
鋳さい	25	92	92	8	6
がれき類	1,074	99	96	1	2
ばいじん	128	99	78	1	10
動物のふん尿	－	－	95	－	0
動物の死体	3	33	52	－	1
その他	11	45	－	9	－
合計	2,688	61	52	3	3

出典：産業廃棄物実態調査及び産業廃棄物実績報告書等入力集計等業務報告書  
：産業廃棄物の排出及び処理状況（平成29年度実績）



### 3. 留意事項等

#### (1) 電気について

本県には大規模な火力発電所等がなく、県内で消費される電力の大部分が県外で発電されたものである。県内に火力発電所がある場合は、発電所が消費する化石燃料は、天然資源投入量やエネルギー消費量に計上されるが、県外で発電された電力については、物質フロー上には計上されていない。

そのため、本県の天然資源消費量は、発電所がある他県よりも少なく計上されており、資源生産性（県内総生産÷天然資源等投入量）は高くなる。

#### (2) 県内総生産について

今回調査で用いた平成 30 年度の県内総生産の数値は 44,573 億円である。これは、「平成 29 年度岩手県県民経済計算」の県内総生産（実質）の値である。

## 第3章 物質フローの推計に用いた統計値等

### 第1節 資源投入量

#### 1. 普通作物

資料:「平成30年作物統計(普通作物・飼料作物・工芸農作物)」農林水産省統計部

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
米(水稲)	273	-	-	-	-
米(陸稲)	0	-	-	-	-
米計	273	146	102	229	375
麦類	7	-	-	-	-
大豆	6	-	-	-	-
小豆	0	-	-	-	-
いんげん	0	-	-	-	-
らっかせい	0	-	-	-	-
そば	1	-	-	-	-
かんしょ	0	-	-	-	-
米以外計	14	8	5	12	19
計	287	153	107	241	394
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各作物収穫量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
耕種農業	126,351,043	67,516,976	47,093,791	105,927,858
県内生産額に対する比率	100.0%	53.4%	37.3%	83.8%
備考	-	-	-	a-b+c

#### 2. 飼料作物

資料:「平成30年作物統計(普通作物・飼料作物・工芸農作物)」農林水産省統計部

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
牧草	1,009	-	-	1,009	1,009
青刈りとうもろこし	206	-	-	206	206
ソルゴー	0	-	-	0	0
計	1,215	-	-	1,215	1,215
備考1	統計実数値	全量県内消費と仮定	全量県内消費と仮定	全量県内消費と仮定	全量県内消費と仮定
備考2	各作物収穫量	-	-	-	-

#### 3. 工芸農作物

資料:「平成30年作物統計(普通作物・飼料作物・工芸農作物)」農林水産省統計部

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
なたね	0	-	-	0	0
こんにやくいも	0	-	-	0	0
計	0	-	-	0	0
備考1	統計実数値	全量県内消費と仮定	全量県内消費と仮定	全量県内消費と仮定	全量県内消費と仮定
備考2	各作物収穫量	-	-	-	-

#### 4. 野菜

資料:「平成30年作物統計(普通作物・飼料作物・工芸農作物)」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
だいこん	25	-	-	-	-
かぶ	0	-	-	-	-
にんじん	3	-	-	-	-
ごぼう	0	-	-	-	-
れんこん	0	-	-	-	-
ばれいしょ(じゃがいも)	0	-	-	-	-
さといも	1	-	-	-	-
やまのいも	4	-	-	-	-
はくさい	7	-	-	-	-
こまつな	0	-	-	-	-
キャベツ	30	-	-	-	-
ちんげんさい	0	-	-	-	-
ほうれんそう	4	-	-	-	-
ふき	0	-	-	-	-
みつば	0	-	-	-	-
しゅんぎく	0	-	-	-	-
みずな	0	-	-	-	-
セルリー	0	-	-	-	-
アスパラガス	1	-	-	-	-
カリフラワー	0	-	-	-	-
ブロッコリー	1	-	-	-	-
レタス	10	-	-	-	-
ねぎ	7	-	-	-	-
にら	0	-	-	-	-
たまねぎ	0	-	-	-	-
にんにく	0	-	-	-	-
きゅうり	13	-	-	-	-
かぼちゃ	0	-	-	-	-
なす	3	-	-	-	-
トマト	9	-	-	-	-
ピーマン	8	-	-	-	-
スイートコーン	3	-	-	-	-
さやいんげん	0	-	-	-	-
さやえんどう	0	-	-	-	-
グリーンピース	0	-	-	-	-
そらめめ	0	-	-	-	-
えだまめ	1	-	-	-	-
しょうが	0	-	-	-	-
いちご	0	-	-	-	-
メロン	0	-	-	-	-
すいか	0	-	-	-	-
計	129	69	48	108	178
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各作物出荷量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

\*出荷量:生食向け・加工向けとして販売したもの

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
耕種農業	126,351,043	67,516,976	47,093,791	105,927,858
県内生産額に対する比率	100.0%	53.4%	37.3%	83.8%
備考	-	-	-	a-b+c

## 5. 果樹

資料:「平成30年作物統計(普通作物・飼料作物・工芸農作物)」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
みかん	0	-	-	-	-
りんご	47	-	-	-	-
日本なし	0	-	-	-	-
西洋なし	0	-	-	-	-
かき	0	-	-	-	-
びわ	0	-	-	-	-
もも	0	-	-	-	-
すもも	0	-	-	-	-
おうとう	0	-	-	-	-
うめ	0	-	-	-	-
ぶどう	3	-	-	-	-
くり	0	-	-	-	-
パインアップル	0	-	-	-	-
キウイフルーツ	0	-	-	-	-
計	51	27	19	42	69
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各作物収穫量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
耕種農業	126,351,043	67,516,976	47,093,791	105,927,858
県内生産額に対する比率	100.0%	53.4%	37.3%	83.8%
備考	-	-	-	a-b+c

## 6. 花き

資料:「平成30年花き生産出荷統計」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
切り花類	8	-	-	-	-
球根類	0	-	-	-	-
鉢ものの類	4	-	-	-	-
花壇用苗ものの類	2	-	-	-	-
計	14	7	5	12	19
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各作物出荷量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

\*切り花類:100g/本、球根類:50g/本、鉢ものの類:2000g/本、花壇用苗ものの類:500g/本として推計

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
耕種農業	126,351,043	67,516,976	47,093,791	105,927,858
県内生産額に対する比率	100.0%	53.4%	37.3%	83.8%
備考	-	-	-	a-b+c

## 7. 木材

資料:「平成30年木材統計」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千m³

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
製材用	524	-	-	-	-
合板等用	589	-	-	-	-
チップ用	401	-	-	-	-
計	1,514	483	239	1,270	1,753
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	計算値
備考2	素材産量	*	**	A-B+C	A+C

\* 生産量-自県材

\*\*需要量計-国産材・自県材

↓0.7t/m³で換算

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	1,060	338	167	889	1,227
備考	換算値	換算値	換算値	換算値	換算値

## 8. 水産品

資料:「平成30年漁業・養殖業生産統計(概数値)」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
海面漁業合計漁獲量	90	-	-	-	-
海面養殖合計収穫量	37	-	-	-	-
内水面漁業合計漁獲量	1	-	-	-	-
計	128	64	29	93	157
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各区分漁獲量・収穫量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
水産業	41,144,454	20,537,511	9,400,162	30,007,105
県内生産額に対する比率	100.0%	49.9%	22.8%	72.9%
備考	-	-	-	a-b+c

## 9. 岩石

資料:「平成30年砕石等統計年報」経済産業省製造産業局  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	6,210	1,773	1,481	5,918	7,691
備考	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	計算値

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
非金属鉱物	13,666,610	3,901,995	3,258,865	13,023,480
県内生産額に対する比率	100.0%	28.6%	23.8%	95.3%
備考	-	-	-	a-b+c

## 10. 砂利

資料:「平成28年度砂利採取業務状況報告書集計表」経済産業省製造産業局  
平成28年度データ(年度)

単位:千m<sup>3</sup>

区分	A県内生産量
河川	174
山	134
陸	661
海	0
他	651
計	1,620
備考1	統計実数値
備考2	採取量*

\*砂利・砂・玉石・玉砕採取量の合計

↓ 1.75t/m<sup>3</sup>で換算

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	2,836	810	676	2,702	3,512
備考1	換算値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	-	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
非金属鉱物	13,666,610	3,901,995	3,258,865	13,023,480
県内生産額に対する比率	100.0%	28.6%	23.8%	95.3%
備考	-	-	-	a-b+c

## 11. 石灰石

資料:「石灰石」石灰石鉱業協会

「平成30年港湾統計(年報)」国土交通省交通経済統計調査室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	4,463	0	19	4,482	4,482
備考	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	計算値

## 12. 原塩

資料:「平成30年港湾統計(年報)」国土交通省交通経済統計調査室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	0	0	9	9	9
備考	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	計算値

## 13. りん鉱石

資料:「平成30年港湾統計(年報)」国土交通省交通経済統計調査室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	0	0	9	9	9
備考	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	計算値

## 14. 鉄鉱石

資料:「平成30年港湾統計(年報)」国土交通省交通経済統計調査室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	0	0	0	0	0
備考	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	計算値

## 15. 金属鉱

資料:「平成30年港湾統計(年報)」国土交通省交通経済統計調査室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	0	0	0	0	0
備考	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	計算値

## 第2節 製品投入量

### 1. 食肉

資料:「平成30年畜産物流流通統計」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
豚	23	-	-	-	-
牛	7	-	-	-	-
子牛	0	-	-	-	-
馬	0	-	-	-	-
計	31	26	10	15	41
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各作物収穫量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
と畜・畜産食料品	118,247,297	99,156,199	39,662,998	58,754,096
県内生産額に対する比率	100.0%	83.9%	33.5%	49.7%
備考	-	-	-	a-b+c

### 2. 食鳥

資料:「平成26年畜産物流流通統計」農林水産省統計部  
平成26年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	320	268	107	159	427
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
と畜・畜産食料品	118,247,297	99,156,199	39,662,998	58,754,096
県内生産額に対する比率	100.0%	83.9%	33.5%	49.7%
備考	-	-	-	a-b+c

### 3. 鶏卵

資料:「平成30年畜産物流流通統計」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	84	70	28	42	112
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
と畜・畜産食料品	118,247,297	99,156,199	39,662,998	58,754,096
県内生産額に対する比率	100.0%	83.9%	33.5%	49.7%
備考	-	-	-	a-b+c

### 4. 飲用牛乳

資料:「平成30年牛乳乳製品統計」農林水産省統計部  
平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	79	50	5	35	85
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	計算値	統計実数値
備考2	製品生産量*	移出量*	移入量*	A-B+C	A+C

\*1kl=1tで換算

## 5. 乳飲料

資料:「平成30年牛乳乳製品統計」農林水産省統計部

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
乳飲料	5	-	-	-	-
はっ酵乳	15	-	-	-	-
乳酸菌飲料	0	-	-	-	-
計	20	17	7	10	27
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	製品生産量*	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

\*1kl=1tで換算

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
と畜・畜産食料品	118,247,297	99,156,199	39,662,998	58,754,096
県内生産額に対する比率	100.0%	83.9%	33.5%	49.7%
備考	-	-	-	a-b+c

## 6. 水産食料品

資料:「平成30年水産加工統計調査」農林水産省センサス統計室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
ねり製品	0	-	-	-	-
冷凍食品	17	-	-	-	-
素干し品	0	-	-	-	-
塩干品	1	-	-	-	-
煮干し品	0	-	-	-	-
塩蔵品	1	-	-	-	-
くん製品	0	-	-	-	-
節製品	0	-	-	-	-
その他の食用加工品	5	-	-	-	-
焼・味付け海苔	0	-	-	-	-
生鮮冷凍水産物	73	-	-	-	-
計	95	76	36	55	131
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	製品生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
水産食料品	68,136,070	54,295,981	25,612,851	39,452,940
県内生産額に対する比率	100.0%	79.7%	37.6%	57.9%
備考	-	-	-	a-b+c

## 7. 水産食料品(その他)

資料:「平成30年水産加工統計調査」農林水産省センサス統計室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
缶・びん詰	10	-	-	-	-
油脂	0	-	-	-	-
肥飼料	2	-	-	-	-
計	12	10	5	7	17
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	製品生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
水産食料品	68,136,070	54,295,981	25,612,851	39,452,940
県内生産額に対する比率	100.0%	79.7%	37.6%	57.9%
備考	-	-	-	a-b+c



## 8. その他の食料品

資料:「食品産業動態調査」農林水産省  
平成30年データ(暦年)

区分	単位:千t	単位:百万円	単位:千t
X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
ハム類	112		
ブレス類	26		
ベーコン類	97		
ソーセージ類	322		
食肉調理品	78		
計	636	883,430	16,970
食肉缶びん詰	6	6,064	319
全粉乳	10		
脱脂粉乳	120		
調製粉乳	28		
加糖れん乳	31		
無糖れん乳	0		
脱脂加糖れん乳	3		
計	192	144,456	1,526
バター	60	83,427	1,124
チーズ	149	261,416	71
クリーム	116	146,518	1,627
アイスクリーム	149	393,742	1,525
野菜・果実漬物	705	339,598	2,344
果実缶・びん詰	48	32,801	705
野菜缶・びん詰	48	47,450	416
ジャム類	35	12,567	190
乾燥野菜	5		
トマト加工品	97		
計	102	298,652	1,174
ブレミックス	369		
米穀粉	94		
計	463	97,639	129
パン類		336,350	2,418
		1,013,719	6,178
		283,472	3,240
	1,221	1,633,541	11,836
パン粉	163	97,639	129
めん類		503,061	0
		312,034	7,142
		107,716	713
		196,932	4,460
	1,473	1,119,743	12,315
植物油脂		36,637	0
加工油脂		210,984	0
	2,210	247,621	0
精製糖類		83,953	0
		149,142	0
	792	233,095	0
味噌	478	135,246	219
しょうゆ	757		
しょうゆ加工品	62		
めん類等つゆ	171		
たれ等	74		
計	1,065	192,606	1,067
味噌	0	135,246	219
ドレッシング類	410	905,668	2,449
でん粉	17	72,015	0
米菓	221	298,841	2,737
ビスケット	259	465,029	5,836
加工米飯	390	1,739,074	15,546
調理缶・レトルトパウチ	406	217,055	6,613
包装もち	60	47,740	830
植物油粕	3,524	111,560	0
その他の食料品 計			80

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	80	55	33	58	113
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類) 単位: 千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
(と畜・畜産食料品)	118,247,297	99,156,199	39,662,998	58,754,096
(精穀・製粉)	52,596,026	13,670,518	10,028,693	48,954,201
(めん・パン・菓子類)	51,528,060	37,349,393	23,313,907	37,492,574
(その他の食料品)	97,796,724	69,452,454	57,899,978	86,244,248
食料品	320,168,107	219,628,564	130,905,576	231,445,119
県内生産額に対する比率	100.0%	68.6%	40.9%	72.3%
備考	-	-	-	a-b+c

## 9. 配合・混合飼料

資料:「飼料月報(平成30年度)」農林水産省生産局畜産部畜産振興課  
平成30年データ(暦年)

単位: 千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	221	104	1,122	1,239	1,343
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類) 単位: 千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
飼料・有機質肥料	12,200,560	5,737,861	61,801,613	68,264,312
県内生産額に対する比率	100.0%	47.0%	506.5%	559.5%
備考	-	-	-	a-b+c

## 10. 有機質肥料

資料1:「ポケット肥料要覧 2017/2018」農林統計協会

資料2:「平成30年工業統計表目録」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成28年データ(暦年)

単位: 千t

単位: 百万円

単位: 千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
動物質肥料	362	-	-	-
植物質肥料	1,484	-	-	-
たい肥等その他	6,624	-	-	-
計	8,470	50,298	1,124	189
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国値按分値
備考2	流通量*			X×(Z/Y)

\*生産量+輸入量(汚泥肥料は含まない)

平成30年データ(暦年)

単位: 千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	189			189	189
備考1	全国比率按分値	※すべて県内需要と仮定	※すべて県内需要と仮定	※すべて県内需要と仮定	※すべて県内需要と仮定

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類) 単位: 千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
飼料・有機質肥料	12,200,560	5,737,861	61,801,613	68,264,312
県内生産額に対する比率	100.0%	47.0%	506.5%	559.5%
備考	-	-	-	a-b+c

## 11. 繊維製品

資料1:「平成30年 経済産業省生産動態統計年報 繊維・生活用品統計編」農林統計協会 経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

単位:百万円

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
化学繊維	880	-	-	-
紡績糸	67	-	-	-
織物*1	206	-	-	-
敷物・フェルト・不織布*2	341	-	-	-
染色整理*1	280	-	-	-
ニット生地	55	-	-	-
製線・ふとん*3	5	-	-	-
漁網・陸上網	9	-	-	-
合成繊維網	13	-	-	-
細幅織物・組ひも・レース生地*4	12	-	-	-
計	1,867	2,875,841	21,023	14
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	流通量			X×(Z/Y)

\*1:原データはm<sup>2</sup>単位→0.2/m<sup>2</sup>で換算

\*2:不織布のみ算入

\*3:製綿のみ算入

\*4:レース生地をのぞく

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	14	5	53	62	67
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
繊維工業製品	2,552,570	905,237	9,990,702	11,638,035
県内生産額に対する比率	100.0%	35.5%	391.4%	455.9%
備考	-	-	-	a-b+c

## 12. 衣服

資料1:「平成30年 経済産業省生産動態統計年報 繊維・生活用品統計編」農林統計協会 経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

単位:百万円

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
外衣*1	19	-	-	-
下着*2	4	-	-	-
補整着*2	0	-	-	-
寝着類*1	0	-	-	-
靴下*2	17	-	-	-
手袋*2	1	-	-	-
乳児用*1	-	-	-	-
ふとん*3	10	-	-	-
計	51	2,875,841	21,023	0
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			X×(Z/Y)

\*1:原データは点数単位→0.34kg/点で換算

\*2:原データは点数単位→0.1kg/点で換算

\*3:原データは枚数単位→3.0kg/点で換算

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	0	0	1	1	1
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
衣服・その他の繊維製品	24,391,264	23,362,988	46,446,608	47,474,884
県内生産額に対する比率	100.0%	95.8%	190.4%	194.6%
備考	-	-	-	a-b+c

### 13. 紙・板紙

資料1:「紙・板紙統計年報」日本製紙連合会

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
北上ハイクーパー	66	-	-	-	-
北上製紙	6	-	-	-	-
計	72	67	79	84	151
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
パルプ・紙・板紙・加工紙	27,636,040	25,716,532	30,426,182	32,345,690
県内生産額に対する比率	100.0%	93.1%	110.1%	117.0%
備考	-	-	-	a-b+c

### 14. 出版・印刷

資料1:「平成30年生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

単位:百万円

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
印刷・製版・製本	7,871	-	-	-
計	7,871	5,076,374	36,005	56
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			X×(Z/Y)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	56	29	24	51	80
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各作物収穫量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
印刷・製版・製本	40,649,080	21,204,183	17,604,736	37,049,633
県内生産額に対する比率	100.0%	52.2%	43.3%	91.1%
備考	-	-	-	a-b+c

### 15. アスファルト舗装材

資料:「平成30年港湾統計(年報)」国土交通省交通経済統計調査室

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
新規合材	10,366	-	-	-
再生合材	30,971	-	-	-
計	41,337	403,292	9,267	950
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			X×(Z/Y)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	950	-	-	950	950
備考	全国比率按分値	*すべて県内需要と仮定	*すべて県内需要と仮定	*すべて県内需要と仮定	*すべて県内需要と仮定

## 16. プラスチック製品

資料1:「平成30年生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

単位:百万円

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
プラスチック製品 計	5,883	-	-	-
計	5,883	12,442,948	87,172	41
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			$X \times (Z/Y)$

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	41	28	49	63	91
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	各作物収穫量	$A \times \text{下表b比率}$	$A \times \text{下表c比率}$	$A \times \text{下表d比率}$	$A+C$

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
プラスチック製品	41,679,560	28,433,596	49,998,581	63,244,545
県内生産額に対する比率	100.0%	68.2%	120.0%	151.7%
備考	-	-	-	$a-b+c$

## 17. ゴム製品

資料1:「平成30年生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

単位:百万円

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
自動車用タイヤ	1473	-	-	-
ゴム製履物	2590	-	-	-
プラスチック製履物	14027	-	-	-
ゴムベルト	22	-	-	-
ゴムホース	39	-	-	-
工業用ゴム製品	180	-	-	-
更生タイヤ用練生地	9	-	-	-
その他のゴム製品	17	-	-	-
再生ゴム	16	-	-	-
計	18,373	3,167,969	5,841	34
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			$X \times (Z/Y)$

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	34	23	152	163	186
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	$A \times \text{下表b比率}$	$A \times \text{下表c比率}$	$A \times \text{下表d比率}$	$A+C$

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
ゴム製品	4,330,090	2,951,501	19,437,649	20,816,238
県内生産額に対する比率	100.0%	68.2%	448.9%	480.7%
備考	-	-	-	$a-b+c$

## 18. ガラス製品

資料1:「平成30年生産動態統計年報 資源・窯業・建材統計編」経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

単位:百万円

単位:百万円

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	W原単位	Z県内出荷額	A県内生産量
板ガラス*1	737	82,804	112.3	-	-
安全ガラス・複層ガラス*2	184	301,564	1636.9	-	-
ガラス繊維製品	417	175,185	419.6	-	-
ガラス基礎製品	26	26,236	1025.2	-	-
ガラス容器類	1156	119,576	103.4	-	-
台所・食卓用品	33	21,068	640.3	-	-
その他のガラス製品	76	41,343	545.1	-	-
ほうろろ鉄器製品	36	13,380	368.8	-	-
計	2,666	781,156	293.1	5,841	20
備考1	統計実数値	統計実数値	計算値	統計実数値	原単位産出値
備考2	生産量	販売額	Y/X		W×Z

\*1: 原データは換算箱単位→9.29m<sup>2</sup>/箱、3kg/m<sup>2</sup>で換算

\*2: 原データはm単位→3kg/m<sup>2</sup>で算

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	20	18	36	38	56
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
ガラス・ガラス製品	5,206,400	4,577,123	9,358,430	9,987,707
県内生産額に対する比率	100.0%	87.9%	179.7%	191.8%
備考	-	-	-	a-b+c

## 19. セメント

資料1:「セメントハンドブック2019(平成31年)」一般社団法人日本セメント協会

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	γ県内需要量
計	973
備考1	販売量

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	1,274	510	209	973	1,483
備考1	統計実数値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2		A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
セメント・セメント製品	43,001,880	17,218,057	7,066,635	32,850,458
県内生産額に対する比率	130.9%	52.4%	21.5%	100.0%
備考	-	-	-	a-b+c

## 20. 生コンクリート

「平成30年生コンクリート統計年報」経済産業省製造産業局素材産業課

平成30年データ(暦年)

単位:千m<sup>3</sup>

区分	A県内生産量
生コンクリート 計	1,856
備考1	統計実数値
備考2	出荷量

↓ 2.3t/m<sup>3</sup>で換算

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	4,268	-	-	4,268	4,268
備考	統計実数値	*すべて県内需要と仮定	*すべて県内需要と仮定	*すべて県内需要と仮定	*すべて県内需要と仮定

## 21. セメント製品

資料1:「平成30年生産動態統計年報 資源・窯業・建材統計編」経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

単位:千t

単位:百万円

単位:千t

区分	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
遠心力鉄筋コンクリート製品	2,000	17,513	556	63
空洞コンクリートブロック*1	1,068	30,390	454	16
護岸用コンクリートブロック	599	177,041	3,566	12
道路用コンクリート製品	2,353	185,799	5,975	76
プレストレストコンクリート製品	690	28,425	1,115	27
計	6,710	439,168	5,841	89
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			X×(Z/Y)

\*1:原データは個単位→0.008892m<sup>3</sup>/個、比重1.9で換算

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	89	36	15	68	104
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	A×下表b比率	A×下表c比率	A×下表d比率	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
セメント・セメント製品	43,001,880	17,218,057	7,066,635	32,850,458
県内生産額に対する比率	100.0%	40.0%	16.4%	76.4%
備考	-	-	-	a-b+c

## 22. 普通鋼鋼材

資料1:「鉄鋼統計要覧2018(平成30年)」社団法人日本鉄鋼連盟

平成29年データ(暦年)

単位:千t

区分	γ県内需要量
計	366
備考1	受注量

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	312	241	295	366	607
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	D×下表a比率	D×下表b比率	D×下表c比率		-A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
鋼材	39,584,290	30,596,153	37,436,582	46,424,719
県内生産額に対する比率	85.3%	65.9%	80.6%	100.0%
備考	-	-	-	a-b+c

## 23. 非鉄金属製品

資料1:「平成30年生産動態統計年報 鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計編」経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

区分	単位:千t	単位:千t	単位:百万円	単位:千t
	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
伸銅製品	820	-	-	-
アルミニウム圧延製品	1994	-	-	-
電線・ケーブル	1165	-	-	-
粗銅	1946	-	-	-
電気銅	1595	-	-	-
銅ケーキ	0	-	-	-
銅ピレット	0	-	-	-
粗鉛	222	-	-	-
電気鉛	197	-	-	-
亜鉛	521	-	-	-
軽金属板製品	377	-	-	-
計	7,518	9,762,006	23,395	18
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			$X \times (Z/Y)$

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	18	16	61	62	79
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	$A \times \text{下表b比率}$	$A \times \text{下表c比率}$	$A \times \text{下表d比率}$	$A+C$

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

部門	単位:千円	単位:千円	単位:千円	単位:千円
	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
非鉄金属加工製品	10,223,300	9,266,324	34,446,205	35,403,181
県内生産額に対する比率	100.0%	90.6%	336.9%	346.3%
備考	-	-	-	$a-b+c$

## 24. 金属製品

資料1:「平成30年生産動態統計年報 鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計編」経済産業省大臣官房調査統計グループ

資料2:「平成30年工業統計表品目編」経済産業省経済産業政策局調査統計編

平成30年データ(暦年)

区分	単位:千t	単位:千t	単位:百万円	単位:千t
	X全国生産量	Y全国出荷額	Z県内出荷額	A県内生産量
鉄骨	1190	-	-	-
軽量鉄骨	187	-	-	-
橋梁	219	-	-	-
鉄塔	50	-	-	-
水門	25	-	-	-
鋼管	22	-	-	-
計	1,671	15,198,944	128,596	14
備考1	統計実数値	統計実数値	統計実数値	全国比率按分値
備考2	生産量			$X \times (Z/Y)$

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	14	11	9	12	24
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	生産量	$A \times \text{下表b比率}$	$A \times \text{下表c比率}$	$A \times \text{下表d比率}$	$A+C$

平成21年岩手県産業連関表(統合中分類)

部門	単位:千円	単位:千円	単位:千円	単位:千円
	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
建設・建築用金属製品	49,049,410	39,663,799	32,618,261	42,003,872
県内生産額に対する比率	100.0%	80.9%	66.5%	85.6%
備考	-	-	-	$a-b+c$



### 第3節 化石燃料投入量

#### 1. 産業用原燃料

資料:「平成30年港湾統計(年報)」国土交通省交通経済統計調査室  
平成30年データ(暦年)

区分	B移輸出量	C移輸入量
石炭	0	551
原油	0	0
重油	1	53
石油製品	0	254
LNG	0	0
LPG	0	8
その他石油製品	0	0
コークス	0	36
石炭製品	0	0
計	1	903
備考	統計実数値	統計実数値

平成30年データ(暦年)

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	0	1	903	902	903
備考	-	-	-	A-B+C	A+C

#### 2. エネルギー最終消費

資料1:「平成30年ガス事業便覧」一般社団法人日本ガス協会  
資料2:「平成30年東北管内石油製品販売実績」経済産業省東北経済産業局  
資料3:「平成30年LPガス都道府県別販売量」日本LPガス協会  
平成29年データ(暦年)

単位:千t

区分	資料	販売量等	換算係数	D県内需要量
ガス生産・購入量(千MJ)	資料1	2,295,592	*1	49
燃料油販売量(千kl)	資料2	1,662	0.80	1,330
LPガス販売量(千t)	資料3	123	-	123
計	-	-	-	1,502

\*1:都市ガスの重量換算(原油換算)

資料1記載数値:

2,295,592 千MJ

2,295,592,168 MJ

原油熱量: 38.2 MJ/l

原油換算: 60,094 kl

原油比重: 0.82 (中質原油相当)

ガス重量換算: 49,277 t

単位:千t

区分	A県内生産量	B移輸出量	C移輸入量	D県内需要量	E需要合計量
計	0	0	1,502	1,502	1,502
備考1	全国比率按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	産業連関按分値	計算値
備考2	D×下表a比率	D×下表b比率	D×下表c比率	上表D	A+C

平成21年岩手県産業連関表(統合小分類)

単位:千円

部門	a県内生産額	b移輸出額	c移輸入額	d県内需要合計額
石油製品	0	0	-124,891,305	-124,891,305
県内生産額に対する比率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
備考	d-c+b	-	-	-

## 第4章 参考資料

### 第1節 資源投入量・製品投入量等の集計表

資源投入量及び製品投入量の算出結果は次のとおりである。

#### 資源投入量

(単位:千トン)

区分	ア 県内生産量	イ 移輸出量	ウ 移輸入量	エ 県内需要量	オ 需要合計量
<b>バイオマス系資源計</b>	<b>2,883</b>	<b>659</b>	<b>376</b>	<b>2,600</b>	<b>3,259</b>
農業一次生産物	1,682	250	174	1,606	1,856
林業一次生産物	1,074	346	173	901	1,246
水産業一次生産物	128	64	29	93	157
<b>非金属鉱物系資源計</b>	<b>13,509</b>	<b>2,583</b>	<b>2,193</b>	<b>13,119</b>	<b>15,702</b>
岩石	6,210	1,773	1,481	5,918	7,691
砂利	2,836	810	676	2,702	3,512
石灰石・けい石	4,463	0	19	4,482	4,482
りん鉱石・原塩	0	0	17	17	17
<b>化石資源計</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>903</b>	<b>902</b>	<b>903</b>
産業用原燃料	0	1	903	902	903
<b>資源計</b>	<b>16,392</b>	<b>3,242</b>	<b>3,472</b>	<b>16,622</b>	<b>19,864</b>

#### 製品投入量

(単位:千トン)

区分	ア 県内生産量	イ 移輸出量	ウ 移輸入量	エ 県内需要量	オ 需要合計量
<b>バイオマス系資源計</b>	<b>1,261</b>	<b>773</b>	<b>1,456</b>	<b>1,944</b>	<b>2,717</b>
食料品(飲料除く)	722	572	231	381	954
飼料・有機質肥料	411	104	1,122	1,428	1,532
紙・印刷物	128	96	103	135	231
<b>非金属鉱物系資源計</b>	<b>6,601</b>	<b>563</b>	<b>260</b>	<b>6,297</b>	<b>6,860</b>
ガラス製品	20	18	36	38	56
セメント・コンクリート製品	5,631	546	224	5,309	5,855
アスファルト合材	950	—	—	950	950
<b>金属系製品計</b>	<b>344</b>	<b>269</b>	<b>365</b>	<b>441</b>	<b>709</b>
鉄	312	241	295	366	607
非鉄金属・金属製品	32	28	70	75	102
<b>化石燃料系製品計</b>	<b>89</b>	<b>56</b>	<b>1,758</b>	<b>1,791</b>	<b>1,847</b>
プラスチック・ゴム	75	51	202	225	277
衣服等	14	5	54	63	68
エネルギー最終消費	0	0	1,502	1,502	1,502
<b>製品計</b>	<b>8,295</b>	<b>1,661</b>	<b>3,839</b>	<b>10,473</b>	<b>12,134</b>

## 第2節 物質フローの断面数量

物質フローの断面数量は、38 ページの集計表と次のように対応している。

- ・ 38 ページの資源投入量「ア県内生産量」が下図の「B.県内資源生産」となっている。
- ・ 38 ページの資源投入量「ウ移輸入量」が下図の「A.移輸入資源」となっている。
- ・ 38 ページの製品投入量「ウ移輸入量」が下図の「C.移輸入製品」となっている。
- ・ 38 ページの資源投入量「イ移輸出量」と製品投入量「イ移輸出量」の計が下図の「⑤移輸入」となっている。

(単位：千t)

A.移輸入資源	3,472	天然 資源 等 投入量	移輸入資源・製品	7,311	総 物 質 投 入 量  29,334	①蓄積純増	17,119
C.移輸入製品	3,839					②エネルギー消費及 び工業プロセス排出	2,809
B.県内資源生産	16,392		県内資源	16,751		③食料消費	1,212
D.バイオマス資源	358					④施肥	189
						⑤移輸出	4,904
						含水等	4,732
						⑥廃棄物等	7,834

↑

d.循環利用量

5,273

↓

a.最終処分

121

b.減量化

2,136

c.自然還元

305

### 第3節 物質フローの作成に使用した資料の出典等

#### 1. 県内一次生産量

##### 1.1 農業（バイオマス系資源）

###### （1）耕種農業

###### ①普通作物

###### ◆推計方法

各作物（水稻、陸稻、麦類、大豆、黒大豆、小豆、いんげん、らっかせい、そば、かんしょ）の県内生産量を統計資料より積上げ、産業連関表の比率により按分した。

###### ◆使用統計

・農林水産省「作物統計」（平成30年）〔HPより入手〕

###### ◆産業連関表

・中分類 001：耕種農業

###### ②飼料作物

###### ◆推計方法

各作物（牧草、草刈とうもろこし、ソルゴー、青刈りえん麦）の県内生産量を統計資料より積上げ、全量が県内需要であると仮定して処理した。

###### ◆使用統計

・農林水産省「作物統計」（平成30年）〔HPより入手〕

###### ◆産業連関表

—

###### ※輸入作物の取扱い

輸入作物については、そのまま飼料として消費されるケースは少なく、混合・配合飼料として製品化されたのち供給されることから、ダブルカウントを避けるため、計上しない。

###### ③工芸作物

###### ◆推計方法

各作物（茶（荒茶生産量）、てんさい、さとうきび、こんにゃくいも）の県内生産量を統計資料より積上げ、全量が県内需要であると仮定して処理した。

###### ◆使用統計

・農林水産省「作物統計」（平成30年）〔HPより入手〕

###### ◆産業連関表

—

###### ④野菜

###### ◆推計方法

各作物（だいこん、かぶ、にんじん、ごぼう、れんこん、ばれいしょ、さといも、やまのいも、はくさい、こまつな、キャベツ、ちんげんさい、ほうれんそう、ふき、みつば、しゅんぎく、みずな、セルリー、アスパラガス、カリフラワー、ブロッコリー、レタス、ねぎ、にら、たまねぎ、にんにく、きゅうり、かぼちゃ、なす、トマト、

ピーマン、スイートコーン、さやいんげん、さやえんどう、グリーンピース、そらまめ、えだまめ、しょうが、いちご、メロン、すいか) の県内生産量を統計資料より積上げ、産業連関表の比率により按分した。

◆使用統計

- ・農林水産省「野菜生産出荷統計」(平成 30 年)〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 001 : 耕種農業

⑤果樹

◆推計方法

各作物(りんご、日本なし、西洋なし、かき、もも、すもも、おうとう、うめ、ぶどう、くり)の県内生産量を統計資料より積上げ、産業連関表の比率により按分した。

◆使用統計

- ・農林水産省「野菜生産出荷統計」(平成 30 年)〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 001 : 耕種農業

⑥花き

◆推計方法

各作物(切り花類、球根類、鉢ものの類、花壇用苗ものの類)の県内生産量を統計資料より積上げ、産業連関表の比率により按分した。切り花類: 100g/本、球根類: 50g/球、鉢ものの類: 2000g/鉢、花壇用苗ものの類: 500g/本として推計した。

◆使用統計

- ・農林水産省「花き生産出荷統計」(平成 30 年)〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 001 : 耕種農業

1.2 林業(バイオマス系資源)

①木材(素材生産量)

◆推計方法

①県内生産量、移輸入量、移輸出量を統計資料より算出。

- ・県内生産量=用途別(製材用、合板用、チップ用)生産量の積上げ。
- ・移輸出量=県内生産量-県内への出荷量。
- ・移輸入量=入荷量(外材含む)-県内への出荷量。

②重量変換

$0.70 \text{ t} / \text{m}^3$ で重量ベースに換算。

◆使用統計

- ・農林水産省「木材需給報告書」(平成 30 年)〔HP より入手〕

◆産業連関表

—

### 1.3 水産業（バイオマス系資源）

#### ①水産品（漁獲量・収穫量）

##### ◆推計方法

漁獲量等（海面漁業合計漁獲量、海面養殖合計収穫量、内水面漁業合計漁獲量、内水面養殖合計漁獲量）を県内生産量として統計資料より積上げ、産業連関表の比率により按分した。

##### ◆使用統計

・農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」（平成 30 年）〔HP より入手〕

##### ◆産業連関表

・中分類 005：水産業

### 1.4 鉱業（金属鉱物系資源）

鉄鉱石、金属鉱等⇒なし

##### ◆推計方法

—

##### ◆使用統計

・国土交通省「港湾統計年報」（平成 30 年）〔HP より入手〕

##### ◆産業連関表

—

### 1.5 鉱業（非金属鉱物系資源）

#### ①岩石

##### ◆推計方法

採取量を県内生産量として統計資料より計上し、産業連関表の比率により按分した。

##### ◆使用統計

・経済産業省「採石業者の業務の状況に関する報告書の集計結果」（平成 30 年度）〔HP より入手〕

##### ◆産業連関表

・中分類 007：非金属鉱物

#### ②砂利

##### ◆推計方法

①採取量を県内生産量として統計資料より計上し、産業連関表の比率により按分した。

②重量変換

1.75t／m<sup>3</sup>で重量ベースに換算。

##### ◆使用統計

・経済産業省「砂利採取業務状況報告書集計表」（平成 28 年度）〔HP より入手〕

##### ◆産業連関表

・中分類 007：非金属鉱物

### ③石灰石

#### ◆推計方法

統計資料より、A. 県内生産量（生産量）、B. 移輸出量（＝移出量）及びC. 移輸入量（＝移入量）とし、下記により算出。

- ・ D. 県内需要量＝ $A - B + C$
- ・ E. 需要合計量＝ $A + C$

#### ◆使用統計

- ・ 財団法人石灰石鉱業協会「石灰石（420）」（令和1年7月）

#### ◆産業連関表

—

### ④りん鉱石

#### ◆推計方法

統計資料より、B. 移輸出量（移出量+輸出量）及びC. 移輸入量（移入量+輸入量）、を積上げ、下記により算出。

- ・ A 県内生産量＝0
- ・ 県内需要量＝ $A - B + C$
- ・ 需要合計量＝ $A + C$

#### ◆使用統計

- ・ 国土交通省「港湾統計年報」（平成30年）〔HPより入手〕

#### ◆産業連関表

—

### ⑤原塩

#### ◆推計方法

統計資料より、B. 移輸出量（移出量+輸出量）及びC. 移輸入量（移入量+輸入量）、を積上げ、下記により算出。

- ・ A 県内生産量＝0
- ・ 県内需要量＝ $A - B + C$
- ・ 需要合計量＝ $A + C$

#### ◆使用統計

- ・ 国土交通省「港湾統計年報」（平成30年）〔HPより入手〕

#### ◆産業連関表

—

## 2. 県内二次生産量

### 2.1 食料品

#### (1) と畜・畜産食料品

##### ①食肉

###### ◆推計方法

各畜産物（豚、牛、子牛、馬）の県内生産量を統計資料より積上げ、産業連関表の比率により按分した。

###### ◆使用統計

・農林水産省「畜産物流通統計」（平成 30 年）〔HP より入手〕

###### ◆産業連関表

・中分類 009：と畜・畜産食料品

##### ②食鳥

###### ◆推計方法

県内生産量を産業連関表の比率により按分した。

###### ◆使用統計

・農林水産省「畜産物流通統計（「食鳥流通統計」）」（平成 30 年）〔HP より入手〕

###### ◆産業連関表

・中分類 009：と畜・畜産食料品

##### ③鶏卵

###### ◆推計方法

県内生産量を産業連関表の比率により按分した。

###### ◆使用統計

・農林水産省「畜産物流通統計（「鶏卵流通統計」）」（平成 30 年）〔HP より入手〕

###### ◆産業連関表

・中分類 009：と畜・畜産食料品

##### ④飲用牛乳

###### ◆推計方法

統計資料より、A. 県内生産量（生産量）、B. 移輸出量（＝移出量）及びC. 移輸入量（＝移入量）とし、下記により算出。

・D. 県内需要量＝A-B+C

・E. 需要合計量＝A+C

###### ◆使用統計

・農林水産省「牛乳乳製品統計」（平成 30 年）〔HP より入手〕

###### ◆産業連関表

—

##### ⑤乳飲料

###### ◆推計方法

①統計資料より、各製品（乳酸飲料、はっこう乳、乳酸菌飲料）を積上げ、産業連関



表数値により按分した。

②重量換算

1kl=1t で換算。

◆使用統計

・農林水産省「牛乳乳製品統計」（平成 30 年）〔HP より入手〕

◆産業連関表

・中分類 009：と畜・畜産食料品

(2) 水産食料品

①陸上加工生産品

◆推計方法

統計資料より、各製品（ねり製品、冷凍食品、素干し品、塩干品、煮干し品、塩蔵品、くん製品、節製品、その他の食用加工品、生鮮冷凍水産物）を積上げ、産業連関表数値により按分した。

◆使用統計

・農林水産省「水産加工統計調査」（平成 30 年）〔HP より入手〕

◆産業連関表

・中分類 010：水産食料品

②船上加工製品⇒なし

◆推計方法

—

◆使用統計

・農林水産省「水産加工統計調査」（平成 30 年）〔HP より入手〕

◆産業連関表

・中分類 010：水産食料品

③その他水産加工品

◆推計方法

統計資料より各製品（缶詰、魚油・魚粉）の生産量を積上げ、産業連関表の数値で按分した。

◆使用統計

・農林水産省「水産加工統計調査」（平成 30 年）〔HP より入手〕

◆産業連関表

・中分類 010：水産食料品

(3) その他の食料品

◆推計方法

統計資料より各製品（ハム類、プレス類、ベーコン類、ソーセージ類、食肉調理品、食肉缶びん詰、全粉乳、脱脂粉乳、調整粉乳、加糖れん乳、無糖れん乳、脱脂加糖れん乳、バター、チーズ、クリーム、アイスクリーム、野菜・果実漬物、果実缶・びん詰、野菜缶・びん詰、ジャム類、乾燥野菜、トマト加工品、プレミックス、米穀粉、

パン類、パン粉、めん類、植物油脂、加工油脂、精製糖類、味噌、しょうゆ、しょうゆ加工品、めん類等つゆ、たれ等、ドレッシング類、でん粉、米菓、ビスケット、加工米飯、調理缶・レトルトパウチ、包装もち、植物性油粕）の全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出し、さらに産業連関表の数値で按分した。

◆使用統計

- ・農林水産省「食品産業動態調査」（平成 30 年）〔HP より入手〕
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 009：と畜・畜産食料品
- ・中分類 011：精穀・製粉
- ・中分類 012：めん・パン・菓子類
- ・中分類 013：その他の食料品

（４）飼料・有機質肥料

①配合・混合飼料

◆推計方法

県内生産量を産業連関表の比率により按分した。

◆使用統計

- ・農林水産省「飼料月報」（平成 30 年）〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 015：飼料・有機質肥料

②有機質肥料

◆推計方法

統計資料より全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出した。全量が県内需要として計上した。

◆使用統計

- ・農林水産省監修「ポケット肥料便覧」（平成 30 年）
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 015：飼料・有機質肥料

2.2 工業製品

（１）繊維・衣服

①繊維製品

◆推計方法

- i 統計資料より各製品（化学繊維、紡績糸、織物、敷物・フェルト・不織布、染色整理、ニット生地、製綿、魚網・陸上網、合成繊維網、細幅織物・組ひも・レース生地）の全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出し、さらに産業連関表の数値で按分した。

ii 原データが $\text{m}^2$ 単位の場合は、 $0.2 \text{ kg} / \text{m}^2$ で重量換算。

◆使用統計

- ・経済産業省「繊維・生活用品統計年報」（平成 30 年）
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 016：繊維工業製品

②衣服

◆推計方法

i 統計資料より各製品（外衣＊1、下着＊2、補整着＊2、寝着類＊1、靴下＊2、手袋＊2、乳幼児用＊1、ふとん＊3）の全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出し、さらに産業連関表の数値で按分した。

ii 重量換算は以下により行った。

＊1：原データは点数単位⇒ $0.34 \text{ kg} / \text{点}$ で換算

＊2：原データは点数単位⇒ $0.1 \text{ kg} / \text{点}$ で換算

＊3：原データは枚数単位⇒ $3.0 \text{ kg} / \text{枚}$ で換算

◆使用統計

- ・経済産業省「繊維・生活用品統計年報」（平成 30 年）
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 017：衣服・その他の繊維製品

（2）紙・板紙

①紙

◆推計方法

統計資料より主要 2 工場（北上ハイテクペーパー、北上製紙）の生産量を積上げ、産業連関表の数値で按分した。

◆使用統計

- ・日本製紙連合会「紙・板紙統計年報」（平成 30 年）
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 020：パルプ・紙・板紙・加工紙

②板紙

◆推計方法

統計資料より主要 1 工場（北上製紙）の生産量を積上げ、産業連関表の数値で按分した。

◆使用統計

- ・日本製紙連合会「紙・板紙統計年報」（平成 30 年）
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

・中分類 020：パルプ・紙・板紙・加工紙

### (3) 出版・印刷

#### ◆推計方法

統計資料より全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出し、さらに産業連関表の数値で按分した。

#### ◆使用統計

- ・経済産業省「生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」（平成 30 年）〔HP より入手〕
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

#### ◆産業連関表

- ・中分類 022：印刷・製版・製本

### (4) 石油製品

#### ①アスファルト舗装材（骨材を含む）

#### ◆推計方法

統計資料の県内生産量を全量が県内需要であると仮定して計上した。

#### ◆使用統計

- ・（社）日本アスファルト合材協会「アスファルト合材統計年報」（平成 30 年度）

#### ◆産業連関表

—

### (5) プラスチック製品

#### ◆推計方法

統計資料より全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出し、産業連関表数値により按分した。

#### ◆使用統計

- ・経済産業省「生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」（平成 30 年）〔HP より入手〕
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

#### ◆産業連関表

- ・中分類 030：プラスチック製品

### (6) ゴム製品

#### ◆推計方法

統計資料より全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出し、産業連関表数値により按分した。

#### ◆使用統計

- ・経済産業省「生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」（平成 30 年）〔HP より入手〕
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

#### ◆産業連関表

・中分類 031：ゴム製品

## (7) 窯業・土石

### ① ガラス製品

#### ◆推計方法

i 統計資料より製品別（板ガラス＊1、安全ガラス・複層ガラス＊2、ガラス繊維製品、ガラス基礎製品、理化学・医学用ガラス、ガラス容器類、台所・食卓用品、その他のガラス製品、ほうろう鉄器製品）に全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県）により岩手県生産量を算出し、産業連関表数値により按分した。

ii 重量換算は以下のとおり行った。

＊1：原データは換算箱単位⇒ $9.29\text{m}^3/\text{箱}$ 、 $3\text{ kg}/\text{m}^3$

＊2：原データは $\text{m}^3$ 単位⇒ $33\text{ kg}/\text{m}^3$ で換算

#### ◆使用統計

・経済産業省「生産動態統計年報 資源・窯業・建材統計編」（平成 30 年）

〔HP より入手〕

・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

#### ◆産業連関表

・中分類 033：ガラス・ガラス製品

### ② セメント

#### ◆推計方法

統計資料より県内需要量を計上し、産業連関表数値により按分した。

#### ◆使用統計

・一般社団法人日本セメント協会「セメントハンドブック 2019」〔HP より入手〕

#### ◆産業連関表

・中分類 034：セメント・セメント製品

### ③ 生コンクリート

#### ◆推計方法

統計資料により A. 県内生産量を積上げ、全量が県内需要であると仮定して計上した。

#### ◆使用統計

・経済産業省「生コンクリート統計年報」（平成 30 年）

・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

#### ◆産業連関表

—

### ④ セメント製品

#### ◆推計方法

統計資料により A. 県内生産量を積上げ、全量が県内需要であると仮定して計上した。

#### ◆使用統計

- ・経済産業省「生産動態統計年報 資源・窯業・建材統計編」（平成 30 年）  
〔HP より入手〕

- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 034：セメント・セメント製品

(8) 普通鋼材・各種金属製品

◆推計方法

統計資料より県内需要量を計上し、産業連関表数値により按分した。

◆使用統計

- ・社団法人日本鉄鋼連盟「鉄鋼統計要覧」（平成 30 年度）

◆産業連関表

- ・中分類 038：鋼材

(9) 非鉄金属製品

◆推計方法

統計資料より製品別（伸鋼製品、アルミニウム圧延製品、電線・ケーブル、粗銅、電気銅、銅ケーキ、銅ビレット、粗鉛、電気鉛、亜鉛、軽金属板製品）に全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県、23：非鉄金属製品）により岩手県生産量を算出し、産業連関表数値により按分した。

◆使用統計

- ・経済産業省「生産動態統計年報 鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計編」（平成 30 年）  
〔HP より入手〕
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 042：非鉄金属加工製品

(10) 金属製品

◆推計方法

統計資料より製品別（鉄骨、軽量鉄骨、橋梁、鉄塔、水門、鋼管）に全国生産量を積上げ、工業統計の出荷額比（全国／岩手県、24：金属製品）により岩手県生産量を算出し、産業連関表数値により按分した。

◆使用統計

- ・経済産業省「生産動態統計年報 鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計編」（平成 25 年）  
〔HP より入手〕
- ・経済産業省「平成 30 年工業統計表品目編」〔HP より入手〕

◆産業連関表

- ・中分類 043：建設・建設用金属製品

### 3. 化石燃料

#### 3.1 産業用原燃料

##### ◆推計方法

統計資料より、本県港湾のB移輸出量（B 1 輸出力+B 2 移出力）、C移輸入量（C 1 輸入量+C 2 移入力）を各品目別に拾い上げ合計値を算出。A県内生産量＝0とし、D県内需要量（＝A－B+C）、E需要合計量（＝A+C）を算出した。

##### ◆使用統計

- ・国土交通省「港湾統計年報」（平成30年度）〔HPより入手〕

##### ◆産業連関表

—

#### 3.2 エネルギー最終消費

##### ◆推計方法

- i 統計資料1より岩手県ガス生産・販売量、統計資料2より岩手県燃料油販売量、統計資料3より岩手県LPガス販売量を拾い、換算係数を用いて重量換算した。
- ii 換算係数は以下のとおり。
  - ・ガス：資料記載数値単位千MJ（原油熱量38.2MJ/L）→k 1（原油比重0.82（中質原油相当））→重量換算t
  - ・燃料油：ガソリン軽油の中間値0.80により換算。

##### ◆使用統計

- ・資料1：資源エネルギー庁「ガス事業便覧2018年版」
- ・資料2：経済産業省「東北管内石油製品販売実績」（平成30年度）〔HPより入手〕
- ・資料3：日本LPガス協会「LPガス都道府県別販売量」（平成30年度）〔HPより入手〕

##### ◆産業連関表

- ・小分類2111：石油製品

### 4. 廃棄物の発生量及び処理量

#### 4.1 一般廃棄物

##### (1) ごみ

##### ◆推計方法

- ①発生量を統計資料の総排出量とした。
- ②最終処分量を統計資料の最終処分量（直接最終処分量+焼却残渣量+処理残渣量）とした。
- ③資源化量を統計資料の資源化量（直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量）とした。
- ④減量化量を、減量化量＝発生量－最終処分量－資源化量により算出した。

##### ◆使用統計

- ・環境省「一般廃棄物処理実態調査」（平成30年度）

##### ◆産業連関表

—  
(2) し尿

◆推計方法

- ①発生量は、統計資料より処理量合計（k 1）を比重 1 として計上。
- ②循環利用量は、資源化量を用いた。
- ③最終処分量は、「し尿処理施設の処理工程からの処理残渣の処理内訳」の「直接埋立」及び「残渣処分量(埋立)」を使用。

◆使用統計

- ・環境省「一般廃棄物処理実態調査」（平成 30 年度）

◆産業連関表

—

4.2 産業廃棄物

◆推計方法

- ①統計資料より、発生量（排出量+有償物量）を使用。
- ②循環利用量は、資源化量（再生利用量+有償物量）を使用。
- ③減量化量、最終処分量はそのままの値を使用した。

◆使用統計

- ・県資源循環推進課「産業廃棄物実態調査及び産業廃棄物実績報告書等入力集計等業務報告書」（平成 30 年度）

◆産業連関表

—

4.3 家畜排せつ物

◆推計方法

- ①県内飼育頭羽数を基により発生量を推計。
- ②循環利用量は、資料に基づき、発生量の 83%とした。
- ③自然還元量は、資料に基づき、発生量の 8%とした。
- ④減量化量は、循環利用量＝発生量－循環利用量－自然還元量により算出した。

◆使用統計

- ・農林水産省「畜産物流通統計」（平成 30 年）〔HPより入手〕

◆産業連関表

—

4.4 稲わら・もみ殻・麦わら

◆推計方法

平成 28 年度の全国データを基に、岩手県と全国の栽培面積割合から推計した。処理量は、前回調査の処理比率と同じとし、資源化量 97.3%、自然還元量 2.7%とした。

◆使用統計

- ・資料 1：平成 30 年度廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用量実態調査報告書（廃棄物等循環利用量実態調査編、環境省）



・資料 2：農林水産省「作物統計」（平成 28 年）

◆産業連関表

—